

平成 30 年度 東京大学地震研究所共同利用研究集会
「広帯域波動現象とその時間変化の実態解明」

日時：平成 30 年 9 月 10 日（月）・11 日（火）

会場：東京大学地震研究所 1 号館セミナー室 A・B（口頭発表）
2 階ラウンジ（ポスター発表）

発表時間：20 分（口頭発表：13 分、質疑応答 7 分）

2018 年 9 月 10 日（月）

13:30 はじめに

古村孝志（東大地震研）

【座長 椎名高裕】

13:35 S18-01 九州の散乱減衰・内部減衰の三次元構造

志藤あずさ（九大）

13:55 S18-02 内部減衰と速度揺らぎの 3 次元不均質構造推定の試み

小木曾仁（気象研究所）

14:15 S18-03 層構造における leaking mode 計算とその応用

西澤修（土木研究所）・齊藤竜彦（防災科研）・

稲崎富士（土木研究所）

14:35-14:55 休憩 20 分

【座長 江本賢太郎】

14:55 S18-04 固結に至っていない粒状体の弾性的性質を把握するための
実験実施に向けて

川方裕則（立命館大）

15:15 S18-05 非等方輻射震源の地震波振幅のばらつきの方角変化 —
ランダム不均質中の地震動シミュレーションによる評価—

吉本和生（横浜市大）・武村俊介（防災科研）

15:35 S18-06 べき乗型スペクトルを持つランダム媒質を伝播するスカラ
ー波束—Born 近似と Phase screen 近似を用いた波束強度

の時空分布の導出—

佐藤春夫・江本賢太郎（東北大）

15:55-16:30 ポスター紹介 (3分×7件)

- S18-P01 見掛け輻射特性の空間変化と不均質構造
武村俊介・齊藤竜彦・久保久彦・汐見勝彦 (防災科研)
- S18-P02 空間領域フィルタによるランダム不均質媒質の作成
江本賢太郎 (東北大)・前田拓人 (弘前大)
- S18-P03 2011年東北沖地震後の地震波速度変化の推移
高木涼太 (東北大)
- S18-P04 シミュレーション波形を用いた東京湾北部における Love 波の伝播解析
島津香織・齊藤舞・別府未来・吉本和生 (横浜市大)・
武村俊介 (防災科研)
- S18-P05 デコンボリューション解析による KiK-net 千葉観測点直下の S 波速度・減衰構造の推定
柴田剛 (東北大)
- S18-P06 海底圧力計の動的変動記録を用いた震源過程解析—時刻精度の悪いオフライン観測データを用いた CMT 解推定手法の検討—
久保田達矢 (防災科研)
- S18-P07 2016年三重県南東沖地震 (Mw 5.9) と南海トラフ巨大地震の準備過程
中野優・兵藤守・仲西理子・山下幹也・堀高峰 (JAMSTEC)・
神谷眞一郎 (防災科研)・鈴木健介・利根川貴志・小平秀一 (JAMSTEC)・高橋成実 (防災科研)・金田義行 (香川大)

16:30-18:00 ポスター発表

18:00 懇親会

2018年9月11日 (火)

【座長 武村俊介】

- 9:00 S18-07 表現定理に基づく沿岸の津波増幅特性
前田拓人 (弘前大)
- 9:20 S18-08 長周期地震動表面波の伝播シミュレーションのための大陸地殻・海洋スラブモデルの検討
野口科子 (予知振興会)・前田拓人 (弘前大)・
古村孝志 (東大地震研)

9:40 S18-09 強震観測データ同化に基づく関東平野の長周期地震動の即時予測実験

古村孝志 (東大地震研) ・ 前田拓人 (弘前大) ・

大峽充巳 (東大地震研)

10:00 S18-10 超高速データ同化のための Green 関数を併用した関東平野の長周期地震動の即時予測実験

大峽充巳 ・ 古村孝志 (東大地震研) ・

前田拓人 (弘前大)

10:20-10:40 休憩 20 分

【座長 野口科子】

10:40 S18-11 海陸地震観測からわかった北海道南部の島弧－島弧衝突帯から太平洋プレート沈み込み帯前弧域の地下構造

村井芳夫 ・ 勝俣啓 (北大) ・ 高波鐵夫 (カーネギー研) ・

渡邊智毅 (マリン・ワーク・ジャパン) ・

山品匡史 (高知大) ・ 長郁夫 (産総研) ・

田中昌之 (気象研) ・ 東龍介 (東北大)

11:00 S18-12 東北日本で発生する深部低周波地震のスペクトル特性

小菅正裕 ・ 春山太一 (弘前大)

11:20 S18-13 寒冷地すべりの微動特性の時間変化 －北海道厚岸郡沖万別地すべりにおける約 2 年間の連続観測から－

土井一生 ・ 松浦純生 ・ 大澤光 (京大防災研) ・

柴崎達也 ・ 土佐信一 (国土防災技術株式会社)

11:40 S18-14 Strong scattering of seismic waves in back-arc beneath Okinawa Trough in Ryukyu subduction zone with implications for the source of rifting

Simanchal Padhy (NGRI) ・ Takashi Furumura (ERI, Univ. of Tokyo) ・

Takuto Maeda (Hiroasaki Univ.)

12:00-13:20 昼食

【座長 土井一生】

13:20 S18-15 Transverse isotropy での表面波の扁平率：

浅部の P 波構造の影響

蓬田清 ・ 福島駿 (北大)

- 13:40 S18-16 Passive Seismic Imaging における干渉イメージ形成についての基礎的検討
渡辺俊樹 (名大)
- 14:00 S18-17 地震波速度変化の統計的特徴
中原恒 (東北大)
- 14:20 S18-18 新燃岳での地震波速度時間変化における降水量の影響評価
水谷雄太・西田究 (東大地震研)

14:40-15:00 休憩 20 分

【座長 高木涼太】

- 15:00 S18-19 南海トラフ域における海底ノイズ記録を用いた実体波抽出
利根川貴志・荒木英一郎・木村俊則 (JAMSTEC)
- 15:20 S18-20 断層近傍における DONET 強震記録を用いた海底変位波形の計算：水圧記録との比較
水谷歩 (北大)
- 15:40 S18-21 ランダムな短波長すべり分布と歪みエネルギー：地震モーメントとエネルギーの関係
齊藤竜彦 (防災科研)・野田朱美 (防災科研)・
吉田圭佑 (東北大)・田中佐千子 (防災科研)
- 16:00 S18-22 Seismic wave gradiometry 法を用いた首都圏地震観測網における地震波動場推定の試み
椎名高裕(東大地震研)・前田拓人 (弘前大)・
加納将行 (東北大)・加藤愛太郎・平田直 (東大地震研)

16:20 連絡事項

16:30 解散+片付け